

## 〔長久手町業務評価票：平成 18 年度業務〕

課係NO・業務NO	-	・	総合計画	4 節 3 項	地域文化
担当課・係名	社会教育 課 社会教育 係【問合せ・質問等の先（内線番号）			5 1 2 番】	

<b>業務の名称</b>	色金山歴史公園茶室管理運営事業				
(1)根拠法令・条例	色金山歴史公園の設置及び管理に関する条例				
(2)当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>15</u> % (係の総業務量を 100%とする) 職員延人数： <u>178.0</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u>6</u> 人・日)				
(3)事業費 (人件費分を除く)	<u>11,452</u> 千円 (平成18年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))				
(4)補助率(補助金がある場合のみ記載)	<u>      </u> % (平成18年度実績)				
(5)業務期間	開始した年度	平成 8 年度	終了(予定)年度	年度	
(6)業務の概要(簡潔に箇条書きで記載)					
業務目的(達成目標)	国に指定された史跡を保護し、有効活用を図るため公園内に茶室を設置憩いの場の提供				
業務が対象とする住民(地域、層)	公園内の制限はなし 茶室管理棟内のさつきの間、かえでの間、胡牀庵については町内在住・在勤・在学者				
業務の具体的な実施内容・方法 (平成18年度実績)	茶室の抹茶サービス 色金山茶会の開催				
業務の実施結果 (平成18年度実績)	茶室年間来場者 7,616人 抹茶サービス 1服 250円 色金山茶会 10月29日(日)				
	【業務結果の説明指標】				
	結果の説明指標	17年度	18年度 実績	19年度 目標	将来目標
1	抹茶年間利用者	4,069 人	4,602 人	4,700 人	6,000 人
2	茶会来場者	330人	440人	400人	400人
3					
4					
5					
業務の成果(業務目的の達成状況) (平成18年度実績)	色金山茶会は、町の社会教育団体である文化協会及び地域婦人会2団体の協力により実施				
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】				
	成果の説明指標	17年度 実績	18年度 実績	19年度 目標	将来目標
1					
2					
3					
4					
5					

(7)遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）
季節により茶室利用者数の増減幅が大きい。

(8)改善実績（過去3年間の実績）
観光ガイド等に茶室のPRをし情報提供に努めている。

(9)業務の評価（自己診断）		
評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	3 点
コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3 点
業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	3 点
住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3 点
総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	3 点
他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	3 点
		平均 3.0点

(10)総合評価（課の見解）	
今後の方向 (該当番号に○印)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①. 前年度と同じく、そのまま継続する。</li> <li>2. 見直して継続（業務の拡大）</li> <li>3. 見直して継続（業務の縮小）</li> <li>4. 見直して継続（方法の改善）</li> <li>5. 見直して継続（他業務と統合）</li> <li>6. 廃止する。</li> <li>7. 休止する。</li> </ul>
評価理由	日本文化の一つでもある抹茶サービスの団体利用が増えているため継続する。

(11)今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）
茶室管理棟内のさつきの間、かえでの間、胡牀庵についてはだれでも利用できるよう検討が必要